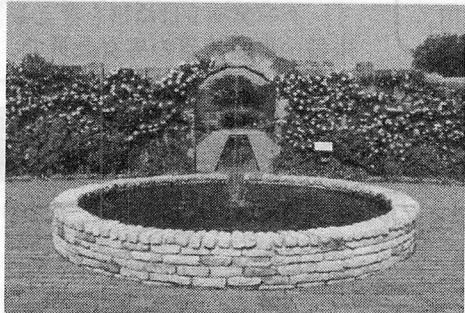


野鳥の森ガーデン、「ザ・トレジャーガーデン」に名称変更

8万㎡の園内に英国風教会迎賓館 婚礼受注にも対応

東武緑地（本社：東京都墨田区）が運営するフラワーパークの野鳥の森ガーデン（群馬県館

林市）は、今年から「ザ・トレジャーガーデン」と名称を変更して営業する。



▲バラをはじめ様々な花が咲き誇る

今年は今月31日に開園。ガーデンの新しいシンボルオブジェである茶釜の開眼式を、「分福茶釜」の伝説で有名な地元の寺・茂林寺の住職を招いて執行了った。

開園期間は11月25日まで。園内には英国国教会が認定し、英国



▲「ヴィクトリアンハウス」

に実在した教会をモデルに造られた教会施設「聖ペテロ&パウロ教会」と、アンティーク家具・調度品が置かれた英国風の迎賓館「ヴィクトリアンハウス」があり、園内での結婚式・披露宴に対応している。また、教会は「恋人の聖地」としても認定されている。

施設面積8万㎡の中には、25万株の芝桜が植栽された「芝桜のガーデン」や、青い花びらで知られるネモフィラなどの22万株が咲く「青のガーデン」、スヴニール・ドゥ・アンネ・フランクやプリンセス・オブ・ウェールズ、ピースなど7品種のバラを植え、それぞれのシーンを演出する「水辺のROSEガーデン」などがある。

今秋には、8000㎡の敷地に10万株の花々が咲く新たなガーデンの開園を予定している。